

年 組 ( ) 名前

サイン

## ? 子どものスマホ 有害サイト防ぐ

スマートフォンを持つ子どもが増えている。便利な機能が多い反面、インターネット上で危険な情報に接触する恐れもある。トラブルを防ぐため、有害なサイトをブロックする「フィルタリング(情報の選別)」を利用したい。

フィルタリングは、子どもが有害な情報に接続するのを制限する機能だ。アドレス情報などに基つき、「アダルト」「ギャンブル」などの分類に該当するサイトの閲覧やアプリの起動ができなくなる。

有害サイト規制法では、携帯電話会社などに対し、保護者から不要の申し出がない限り、18歳未満が使う端末にフィルタリングをすることを義務づけている。

だが、内閣府の2015年度の調査では、実際の利用率は45%。青少年環境整備担当の松本晃さんは「親がフィルタリングの重要性を十分理解しないまま、子どもの意向に左右されて外していることもある」と話す。

スマートフォンを持つ子どもが増えている。便利な機能が多い反面、インターネット上で危険な情報に接触する恐れもある。トラブルを防ぐため、有害なサイトをブロックする「フィルタリング(情報の選別)」を利用したい。

# 閲覧制限のサービス利用



デジタル

### ◆携帯電話3社の主なフィルタリングの方法

	通信回線	無線LAN回線	アプリの利用
NTTドコモ Android 端末	「spモードフィルタ」に申し込む	アプリ「ファミリーブラウザ for docomo」を初期設定する	アプリ「あんしんモード」を初期設定する
ソフトバンク iPhone	「ウェブ安心サービス」に申し込む	アプリ「Yahoo! あんしんねっと」をインストールする	iPhone本体の機能を使う
KDDI (au) Android 端末	アプリ「安心アクセス」をインストールする		

※対応機種によって異なる。いずれも無料だが、オプションのサービスを付けると有料になることもある



### ■スマホのフィルタリングのポイント

- ・携帯電話各社が提供する無料のサービスなどを利用する
- ・各社の通信回線、無線LAN回線、アプリの3種類のフィルタリングが必要
- ・年齢に応じた設定や、子どもが見たいサイト、使いたいアプリを個別に保護者が許可することもできる

(竹内さんの話を基に作成)

庁によると、15年上半期に主にスマホを使い、交流サイトを通じて性被害などに遭った子どもの96%がフィルタリング未利用だった。子どものネット利用に詳しい兵庫県立大学准教授の竹内和雄さん(生徒指導論)は、「フィルタリングを利用しないのは、夜の繁華街を子ども一人で歩かせるようなものだ」と指摘する。フィルタリングが設定されているかどうかは、携帯電話各社の窓口や専用サイトで確認できる。されていない場合は、各社のサービスを利用しよう。多くが無料だ。スマホのフィルタリングは①携帯会社の通信回線②無線LAN回線③アプリの利用制限——の3種類ある。①だけ設定しても、公共施設や自宅などで使える無線LAN回線経由で有害サイトに接続できてしまうので、3種類全てを設定するのが安心だ。

(2016年3月10日 読売新聞朝刊より)

◆スマートフォンを利用する子どもたちを守るために「フィルタリング」というサービスがあります。保護者向けにその内容を説明した、くらし面の記事です。

【1】なぜフィルタリングが必要なのでしょう。

【2】あなたが親だったら、自分の子どもにスマホを与えるとき、どのような対策を取りますか。

---



---



---



---



---



---



---